**クリティカルシンキングの定義と実践の方法**

（１）クリティカルシンキングの定義

　　　本校では、先行研究からクリティカルシンキングの力を

　　**「物事を多様な観点から論理的に考察する力」**

　　　と定義づけた。

　　　　生徒の言語能力における今までの課題として、

　　　　　・物事を一面的に捉えてしまう。　　　　　・理由が漠然として相手に伝わらない。

　　　　　・文章や人の話を鵜呑みにしてしまう。　　・内容の深まりが見られない。

　　　などの点が挙げられる。そこで、クリティカルシンキングを支える要素として、次の３つを掲げ、これら

　　　を軸として研究に取り組んでいくこととした。

①　多面的・多角的な視点　　→「他に考え方はないか」

②　論理的思考　　　　　　　→「理由がはっきりしていて、分かりやすいか」

③　メタ認知　　　　　　　　→「本当にこれでよいか」

（２）クリティカルシンキングの実践方法

　　クリティカルシンキングの具体的な取組内容及び実践方法の例を、次の図で示した。

〈各教科での取り組み〉

　・一部の生徒の考えに傾斜せずに（その考えに賛成か、同じ考えでも他の言い方はできないか、別の角度

から見た考え方はないのか）など発問を工夫する。

　・自分の考えを深めたり他の人の考えから新たな考えに発展させたりするために、班活動や発表のさせ

方を工夫する。

（総合的な学習の時間）

　・各学年の行事や全体計画に基づいて、事前事後学習に自分の考えをまとめる時間帯を設ける。

（特別活動）

　・委員会、部活動等の時間で、「もっと良いやり方はないか」を話し合う時間をつくり、より発展的な話し合い方をさせる。

手段としての言語活動

　各教科の授業で　　　　…4人班での話し合い活動、発表、自分の考えの表現

　総合的な学習の時間で　…行事等の事後学習としてポスターセッション、スライド等

　　　　　　　　　　　　　を使ったプレゼンテーション　など

クリティカルシンキングの促進

２　研究構想図

●現代の子どもたちの課題●

　　聞く力、考える力、問題解決する力、表現する力、学ぶ意欲

　　などの低下

原因：子どもたちが自然・家族・地域・社会から隔絶され、実体験や多様な立場の人とのコミュニケーションが不足

　　　　　　　　　　**↓**

ESDの実践により、体験や関係性を補充

→複雑な課題を乗り越えて解決につなげる。問題解決の力

**＝思考力、判断力、表現力**

を身につけさせる必要

●現代社会の課題●

　地球規模では　…　環境破壊、貧困、紛争など

　多摩地域では　…　少子高齢化など

　　　　　　　**↓**

　　　　　 　持続不可能な課題

　　　　　　→私たちの生活とつながっている。

　　　　　　　**↓**

　世界のつながりの有り様や影響などを思考し、どうあるべきかを構想できる力が必要

　**＝ESD（持続発展教育）**

目的：環境問題や人権問題、経済問題など複雑に絡んだ現代社会の問題に取り組む意欲と能力をもった人材の育成

そこで本校の校内研究では**「批判的に考える力」＝クリティカルシンキング**を重視

**本　校　の　教　育　活　動　全　体　構　想　図**

**社会を生き抜き、未来を考える力の育成**

　　　　　　　　　　**ESDの視点から目指す能力**

　　　　　　　　　　　　　　　　**○基礎学力（知的能力）の向上**

**○コミュニケーション力（社会・対人間関係力）の向上**

　　　　　　　　　　　　　　　　・課題を直視する力

**クリティカルシンキング**を取り入れた

種々な学習活動

学習効果を高めるツールとしての**タブレット端末の活用**

思　考　力　　　判　断　力　　表　現　力

**・「他に考え方はないか」（多面的・多角的な視点）**

**・「理由がはっきりしてわかりやすいか」（理論的思考）**

**・「本当にこれでよいか」（メタ認知）**

　　　　　　　　　　　　　　　　・その解決策を見つけ出す力

　　　　　　　　　　　　　　　　・現状を改善する取り組みを実践する力

　　　　　　　　　　　　　　　　**社会を生き抜く力を高める基礎的能力**